

ホームズからの手紙

1920年、ロンドンのオリンピックでボーイスカウトの大会があるので、それとなく見に行った私は - えっ、知らなかっただって。私は変装の名人なんだよ - そこで「道しるべ」というプログラムをやっているのを見た。それは「探偵術」をゲームにしたものだったが、どうして、彼らの観察力はすばらしく、私は彼らに捜査を手伝ってもらいたいと思ったぐらいだ。

じっさい、私はロンドンの子ども達に、ベーカー街別働隊(Backer Street Irregulars)という名前を付けて、捜査を手伝わせていた。子ども達はどこにでも入ってゆけるし、どんな情報でも耳にすることができる。注意力は、針のようにするどい。1ダースの警官より立派な働きをした。組織力がないのがたまにきずだったけどね。

さて、それから80年以上経ったわけだが、今でもボーイスカウトは同じくらい役に立つのか、とても気になっているんだ。写真やビデオがあるので、注意深く見なくても調査できるし、携帯電話があるので、いつでもどこでも連絡ができてしまう。昔の「感覚」は、鈍ってしまっているのではないかと、思えるんだがどうだろう。

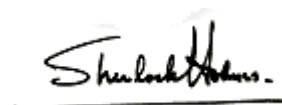
聞けば、今日、ボーイスカウトのリーダーが集まって、ハイキングをするという。ちょうど良い、その実力を見せてもらおうじゃないか。オリンピックのときのように、またこっそりと君達の様子をうかがうことにする。

なに、私がまだ生きていて、日本語の手紙を書いているのは、おかしいって？ そんなことは、ワトソン君に聞いてくれたまえ。

ともあれ、諸君の健闘を祈る。よくできた班は、あたらしい別働隊に任命しようじゃないか。

Good Luck!

Your friend Sherlock Holmes



この手紙には、秘密の言葉が隠されているようだ。

その言葉をさがして、見つかったら報告しよう。

報告した答えが正解なら、その内容にしたがって、いざ、出発。